

事務事業評価シート

(H.30)No.	3068	(H.29)No.	3068
-----------	------	-----------	------

事務事業名	奨学金支給事業(補助金含む)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育総務室	内匠 勝也	

会計区分	事業コード	462001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	奨学金支給事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	奨学金支給事業(補助金含む)	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
奨学金の支給又は貸付を行うことにより、地域の良さを知り、持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成します。
事業内容
<名張市奨学金>将来、郷土や社会に貢献できる人材を育成するため、高等学校・高等専門学校の1~3年生、大学又は高等専門学校の4~5年生を対象に、奨学金の支給又は貸付(各10名以内)を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	委員報酬 14千円 委員旅費 1千円 口座振替手数料 2千円 支給奨学金 4,860千円 (新規20名、継続34名) 貸付奨学金 2,160千円 (新規6名、継続3名)	委員報酬 28千円 委員旅費 4千円 口座振替手数料 2千円 支給奨学金 5,280千円 (新規20名、継続37名) 貸付奨学金 6,840千円 (新規20名、継続6名)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
			支給奨学金 貸付奨学金 奨学金管理システム保守 委員報酬ほか	支給奨学金 貸付奨学金 奨学金管理システム保守 委員報酬ほか	支給奨学金 貸付奨学金 奨学金管理システム保守 委員報酬ほか

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)	
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分				
①直接事業費		7,037千円		12,154千円	13,000千円	13,000千円	13,000千円	
内訳 (千円)	国・県支出金							
	地方債							
	その他()		6,396		10,526	6,000	6,000	4,500
	一般財源	0	641	0	1,628	7,000	7,000	8,500
人工数	職員		0.19人		0.15人	0.15人	0.15人	0.15人
	臨時職員等		0.00人		0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
②概算人件費	0千円	1,406千円	0千円	1,236千円	1,236千円	1,236千円	1,236千円	
①+②総事業費	0千円	8,443千円	0千円	13,390千円	14,236千円	14,236千円	14,236千円	

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
大学、高等専門学校又は高等学校に在学する者に奨学金を支給しました。大学、高等専門学校又は高等学校に在学する者に奨学金を支給して、郷土や社会に貢献できる人材を育成します。また、貸付奨学金の償還開始に伴い、各奨学生ごとの長期にわたる償還金の管理を行う必要があります。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)

引き続き、奨学金制度の周知に努め、適正な支給・貸付を行います。また、貸付奨学金の償還開始に伴い、償還金の適正管理に努めます。

奨学金支給事業は、学習意欲がありながら経済的な理由等で就学が困難な学生を支援するため、継続する必要があります。また、貸付奨学金の償還対象者の増加により、事務が煩雑化しており、奨学金管理システム等の導入により、適切な事務執行が必要です。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
